

IMAI 今井政之展

自ずから然らしむ

Masayuki IMAI: Retrospective Exhibition, Living as Nature



《円游大皿》2011 個人蔵

38年ぶりの再会、 深化した姿へ。

2018年文化勲章受章者である陶芸家・今井政之（1930-）は、竹原市に窯を構え、東広島市西条の陶土を用いながら制作を続けています。本展では土の魅力を最大限に引き出しながら、身近にある自然や素材を作品に取り入れ、新たな表現へと果敢に挑んできた作家の作陶人生を辿るとともに、長年培ってきた独自の美意識に迫ります。

東広島市立美術館（学芸担当：大山 広報担当：桑原）

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 開催概要

展覧会名 | 今井政之展 ―自ずから然らしむ

会 期 | 2021年10月15日（金）―11月28日（日）

時 間 | 9時―17時 ※10月15日は10時開館／10月29日（金）、11月26日（金）は19時まで開館
*11月3日（水・祝）無料開館

会 場 | 東広島市立美術館 2F 展示室 B、3F 展示室 A

主 催 | 東広島市立美術館、中国新聞社

後 援 | 広島県、広島県教育委員会、竹原市、竹原市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、（株）広島リビング新聞社、プレスネット、KAMON ケーブル、
たけはらケーブルネットワーク、FM 東広島 89.7MHz、尾道エフエム放送

観 覧 料 | 一般 1000 円、大学生 500 円、高校生以下無料

■ 展示構成

第 1 章 「様式の変遷」

京都移住後の初期作品をはじめ、生々しい土の造形が特徴のレリーフが施された作品や、苔の美しさに魅せられ生まれた苔泥彩^{たいでいさい}、代表技法である面象嵌^{めんそうがん}、白濁した釉薬に象嵌^{はくさじ}を出現させる象嵌志野、近年新たに挑んでいる半磁器象嵌の白砂瓷まで、今井政之が研究を繰り返しながら新たな表現へと挑んできたこれまでの歩みを追う。



《苔泥彩鼎壺》1966 個人蔵

第 2 章 「自然から生まれる」

作家は東広島市西条の陶土をはじめ、制作拠点の竹原で採れる海水や塩、灰など身近な素材を制作に取り入れている。一方で、今井の作陶の出発点である備前の土や滞在制作を行った地域の土など各地の土を用いた作品が存在する。本章では身近に存在するものや、人為的な意図を超えた自然の影響から、独自の景色が生み出される陶芸について、作家が身を置く環境を辿りながら、自然や暮らしとの関りについて焦点をあてる。



《象嵌彩窯変仏手柑花壺》1980 個人蔵



竹原豊山窯の工房風景

■ 展示構成

第3章 「いきるカタチ」

青年期を過ごし、現在も制作拠点とする瀬戸内で採れる海の魚や、身近に生息する草花、旅先で出会った生き物など、作家が実際に見た—あるいは口にした—動植物を丁寧にスケッチすることで図案として作品に施し、その生き生きとした表情や姿を見事に再現している。今井政之の作品は、絵がより活きる造形とするため、モチーフに相応しい器のかたちを採用することが特徴の一つである。制作のためにつくられた図案や下図、スケッチなどの資料を交えながら制作過程を紹介するとともに、作家の卓越した観察眼と生命感溢れる造形表現に迫る。



《平和への談判大皿》2018 個人蔵

第4章 「美へのまなざし」

「竹原豊山窯」には二つの茶室が存在する。そのうちの一つ「松聲軒」は三井家から移築された大正時代の茶室である。もう一方の「柳慶亭」は岡山藩池田家の筆頭家老で「虫明焼」中興の祖である大茶人伊木三猿齋（忠澄）由来の茶室「扇の間」を移築したものだ。「柳慶亭」の室内には裏千家 15 代家元鵬雲齋による窯銘書が床の間にあり、移築前から現地で使用されていた扇面が施された襖には今井が制作した引手を装飾している。茶室の装飾等を中心に、茶人など文化人との交流を示しながら、作家が長年培ってきた独自の美意識に迫る。



柳慶亭

■ 作家プロフィール

今井 政之 [1930(昭和5)年 -]

大阪市生まれ。

1943(昭和18)年父の故郷竹原市に疎開する。

1947(同22)年広島県立竹原工業学校金属工業科を卒業後、父のすすめで陶芸家を志した今井は、備前の鈴木黄哉、西川清翠のもとで修業を始めた。

1949(同24)年岡山県工業試験場窯業分室に勤務し、釉薬や陶土研究を行う。

1952(同27)年京都に移り初代勝尾青龍洞の門人となる。同年京都青陶会の創立同人となり主宰の楠部彌弼に師事、翌年第9回日展で初入選を果たす。

以後、日展を中心に発表・受賞を重ね評価を高めていく。

60年代にはオリジナル釉薬である「苔泥彩」や代表技法の「面象嵌」を成功させた。

1978(同53)年竹原に「竹原豊山窯」を築く。2018(平成30)年文化勲章受章。

広島県名誉県民。



■ 関連イベント ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内容を変更する場合がございます。

1 アーティストトーク

本展開催を記念して今井政之氏と交流のある外館和子氏を聞き手にお招きし、今井氏にこれまでの作陶人生についてお話しいただきます。

- | 日時 | 2021年10月16日(土) 14:00-15:30
- | 講師 | 今井政之(出品作家)
- | 聞き手 | 外館和子(多摩美術大学教授、工芸史家)
- | 会場 | 1F アートスペース
- | 定員 | 40名(事前申込制・無料)※お申し込みは1組4名まで
- | 申込締切 | 10月1日(金) 必着

2 対談

瀬戸内の生き物をモチーフとした作品を多く制作している今井政之氏と、瀬戸内海の魚に精通する広島大学大学院教授海野徹也氏による対談イベントです。

- | 日時 | 2021年11月3日(水・祝) 14:00-15:30
- | 講師 | 今井政之(出品作家)、海野徹也(広島大学大学院統合生命科学研究科)
- | 会場 | 1F アートスペース
- | 定員 | 40名(事前申込制・無料)※お申し込みは1組4名まで
- | 申込締切 | 10月20日(水) 必着

3 ワークショップ「やきものの土で動物づくり」

今井政之氏の長男である陶芸家・今井眞正^{まきまさ}氏を講師に、陶芸の土を使った動物づくりのワークショップを行います。後日窯で焼成し、会期終了後に完成作品をお渡しします。

- | 日時 | 11月13日(土) 14:00-16:00
- | 会場 | 1F アートスペース
- | 講師 | 今井眞正(陶芸家)
- | 定員 | 10名(事前申込制)
- | 対象 | 小学生以上(小学生以下は保護者同伴)
- | 参加費 | 500円
- | 申込締切 | 10月29日(金) 必着

4 今井家三代の器で楽しむ呈茶席

今井政之氏、眞正^{まきまさ}氏、完眞^{きたまき}氏の今井家三代の器を楽しむことができる呈茶席です。

- | 日時 | 10月31日(日) [上田宗箇流]、11月6日(土) [表千家]、11月20日(土) [裏千家] 各日 10:00-16:00
- | 協力 | 上田宗箇流 景山宗紀社中、表千家 富吉宗美社中、裏千家 稲葉宗美社中、株式会社さくらや
- | 会場 | 1F ロビー
- | 呈茶券 | 各日 500円(お菓子付/当日先着 50席)※無くなり次第終了

東広島市立美術館(学芸担当:大山 広報担当:桑原)

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL:082-430-7117 FAX:082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 東広島市立美術館 広報用画像申請書

■FAX 082-430-7118 ■E-mail 2636026@izumi-techno.jp (東広島市立美術館 指定管理者 ㈱イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)			
① <input type="checkbox"/>		④ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		⑤ <input type="checkbox"/>	
③ <input type="checkbox"/>		⑥ <input type="checkbox"/>	
		⑦ <input type="checkbox"/>	
		⑧ <input type="checkbox"/>	
		⑨ <input type="checkbox"/>	

■作品キャプション

①《円游大皿》2011 個人蔵 ②《苔泥彩鼎壺》1966 個人蔵 ③《平和への談判大皿》2018 個人蔵 ④《焼ゞ盤》1959 たけはら美術館 ⑤《苔泥彩印華飾壺》1976 たけはら美術館 ⑥《鈞窯茶盤 銘「あけぼの」》1971 個人蔵 ⑦《白砂瓷尾白薔薇羽太飾皿》2021 個人蔵 ⑧竹原豊山窯の工房風景 ⑨今井政之 大皿制作風景

東広島市立美術館 (学芸担当：大山 広報担当：桑原)

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL: 2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART